

豊かな海の創造を通じて カーボンニュートラル・地域活性化を目指す



経験豊富なコンサルタントが皆さまの課題解決をお手伝いします



ブルーカーボンとは、海草・海藻藻場やマングローブなどの生態系を通じて海洋中に吸収・固定される大気中のCO₂(炭素)を指します。日本は、世界的にも主要なブルーカーボン貯蔵国であり、世界の必達目標であるカーボンニュートラルの達成における有効かつ新たな対策として注目が高まっています。

私たち八千代エンジニアリング(株)は、ブルーカーボンが社会的に注目される以前から、約12年にわたり藻場・干潟などのブルーカーボン生態系の保全・創出によるCO₂吸収源対策や、ブルーカーボン・クレジットの算定・制度創出に関わり、お客様の課題解決や地域活性化の支援を行っています。

官公庁のお客様

- ✓ 地域のカーボンニュートラル実現に向けて、ブルーカーボン量(藻場・干潟のCO₂吸収・固定量)を把握したい
- ✓ 地域による藻場・干潟の保全の取り組みを、ブルーカーボン・クレジットとして発行して資金支援したい
- ✓ 港湾事業の副産物(浚渫土砂や護岸撤去物など)を活用して藻場・干潟を創出したい
- ✓ ブルーカーボンを切り口とした事業化やブランディングで地方創生や水産業の振興を図りたい

民間企業のお客様

- ✓ ブルーカーボン・クレジットを発行または購入し、自社のカーボンニュートラルに活用したい
- ✓ 地域の藻場・干潟の保全活動へ携わり、地域貢献や環境教育に繋がりたい
- ✓ 藻場・干潟の保全を通じて事業収益の向上やブランディングに繋がりたい(製品価値向上、事業副産物活用など)
- ✓ 自社の活動によるCO₂吸収以外の生態系サービスも定量化し、投資家の皆様やお客様へPRしたい

当社の
ブルーカーボンサービス

FS/ 現地調査

- ・文献調査や現地調査(空中・水中ドローン/ダイバー潜水調査/衛星画像解析など)によるブルーカーボン量の算定
- ・地域概況調査による活動ポテンシャルの分析

クレジット算定

- ・Jブルークレジット®の方法論に準拠したブルーカーボン・クレジット算定
- ・Jブルークレジット®への申請支援、取得したクレジットの活用方策検討

藻場・干潟創出

- ・港湾の浚渫土砂を活用した干潟や浅場造成の計画・設計・モニタリング
- ・建設・産業副産物を活用した魚礁や藻礁造成の計画・設計・モニタリング

ブランディング

- ・CO₂以外の生態系サービス(多面的機能)の定量評価(水質浄化、食料供給、環境教育など)
- ・多面的機能を活用した地域活性化支援(地産品ブランディング、資金調達など)



当社の強み! これまで当社が手がけてきた
ブルーカーボンに関わる業務実績例

- ✓ 横浜市さま・福岡市さま独自のブルーカーボン・オフセット制度の創設支援
- ✓ 『Jブルークレジット® 認証申請の手引き』の作成支援
- ✓ 自治体さまや民間企業さまによるブルーカーボンを切り口とする事業創出支援



潜水による藻場調査



市民参加型のブルーカーボンイベント



お問い合わせ

yec 八千代エンジニアリング株式会社

八千代エンジニアリング ブルーカーボン 🔍 で検索!

Mail blue-carbon@yachiyo-eng.co.jp

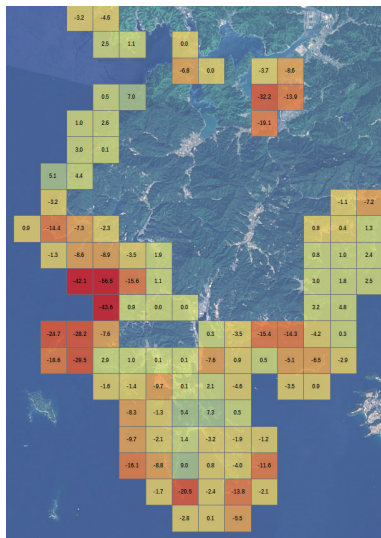
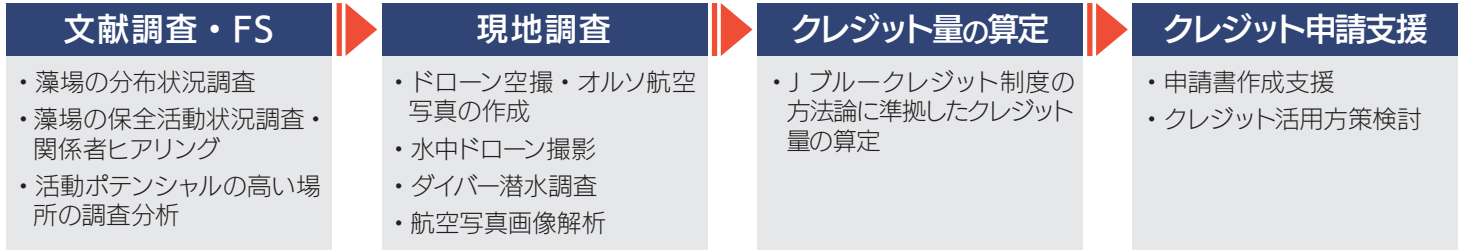
東京 03-5822-2491
(担当: 吉原・鈴木)

福岡 092-778-2040
(担当: 遠山・末廣)

J-ブルークレジット®の算定支援

ブルーカーボンを定量化してクレジットとして発行し、カーボンオフセットとして取引するブルーカーボン・クレジット制度（J-ブルークレジット®）が令和2年度よりスタートしました。本クレジットの注目度は高く、森林整備によるクレジットよりも高価な値段で取引されており、各地域で保全活動に取り組む人々が抱える資金や人手不足の課題解決に繋がっています。さらに、自社事業のカーボンニュートラルや地域への貢献を目的に、自ら藻場等の保全活動に取り組む民間企業さまの数も増加しています。

私たちは、ジャパンプルーエコノミー技術研究組合（JBE）が発行する「J-ブルークレジット® 認証申請の手引き」の作成支援や数々の現地調査で得た知見を基に、官公庁や民間企業のお客様によるクレジット認証までのご支援を一気通貫で手掛けています。

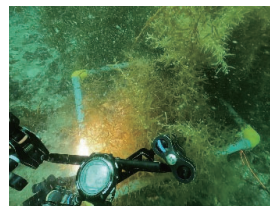


藻場の変化量の分析

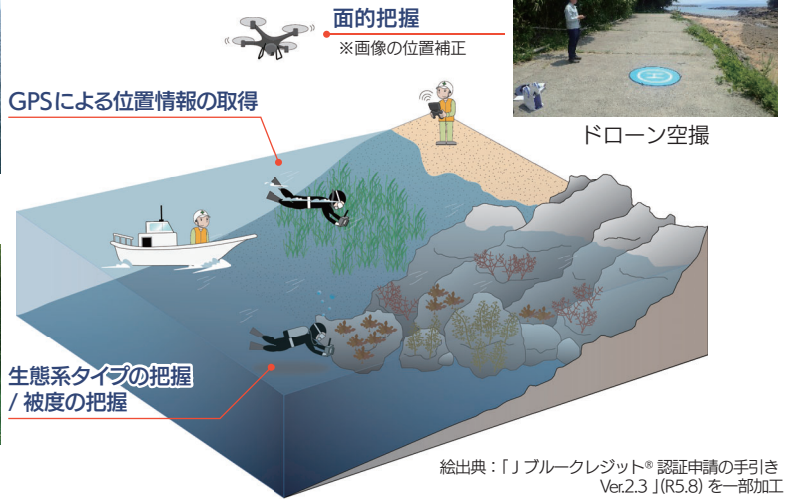
クレジット申請に必要な全ての現地調査に対応可能です



潜水による分布域の把握



潜水による坪刈り調査



絵出典：「J-ブルークレジット® 認証申請の手引き Ver.2.3」(R5.8) を一部加工

環境学習

各地の藻場で磯焼けや食害の被害が発生しており、将来に渡り藻場を維持していくためには、息の長い取り組みが必要です。私たちは、次世代を担う子供たちが藻場の恵みや保全の大切さを学べるように各種のプログラムを用意しています。

- 市民参加型の環境学習イベントの企画・運営
ex) ワカメの収穫体験、ダイバーの水中ライブ、SUPによる市民参加型の藻場調査等
- 小学校や中学校への出前講座



ワカメの収穫体験



ダイバーの水中ライブ

多面的機能の評価

ブルーカーボンを生み出す藻場や干潟などの浅海域の生態系は、CO₂の吸収のみならず、水質浄化や、食料供給、環境教育・レクリエーションの場など様々な機能(生態系サービス)を提供する場となっています。

私たちは、これらを科学的に調査・評価し、生態系サービスの効果をわかりやすく可視化します。効果的なPRや活動目標・対策立案等、地域活性化や課題解決の支援を行っています。

